

施策番号	442	施策名	交通安全・生活安全対策の推進	主管課名	くらし安全課
総合計画体系	政策名	4	快適な生活環境の里づくり	令和 2 年度課長名	小原 克則
	関係課名			シート作成者	山本 翔大

1. 施策の対象と意図の指標

① 施策の対象(誰、何が対象か)		③ 対象指標(対象の数・規模)		単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町民	→	ア	人口	人	見込値			12,143	11,970	11,800
						実績値	12,926	12,754	12,625	
イ 町内の道路利用者(車輛運転者、歩行者)	→	イ			見込値					
						実績値				
ウ	→	ウ			見込値					
						実績値				
② 施策の意図(対象をどうしたいのか)		④ 成果指標(意図の達成度)		単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 交通事故から身を守る	→	ア	町内の交通事故発生件数	件	目標値	25	25	20	15	14
					実績値	12	17	7		
					達成率	208.3%	147.1%	285.7%	214.3%	200.0%
イ 犯罪による被害から身を守る	→	イ	町内の交通違反件数 (交通三悪件数) 無免許・飲酒・悪質な速度超過	件	目標値	34	32	30	17	16
					実績値	13	19	10		
					達成率	261.5%	168.4%	300.0%	170.0%	160.0%
ウ	→	ウ	町内の犯罪発生件数	件	目標値	45	45	40	27	24
					実績値	43	21	19		
					達成率	104.7%	214.3%	210.5%	142.1%	126.3%
エ	→	エ	犯罪被害にあう不安を感じている町民の割合	%	目標値	45.0	45.0	45.0	37.0	36.5
					実績値	36.1	37.4	38.3		
					達成率	124.7%	120.3%	117.5%	96.6%	95.3%
⑤ 成果指標設定の考え方	住民や町内道路利用者等が交通事故から身を守り、犯罪による被害に遭わないことを意図しているため、交通事故件数、交通違反件数、犯罪発生件数(刑法犯認知件数)及び生活安全上不安を感じている町民の割合を成果指標とした。				⑥ 成果指標の把握方法と算定式等	ア・イ・ウ 津山警察署統計データ(岡山県警察の統計方法により、1月1日～12月31日の期間の件数) エ 町民アンケート(対象者1,000人中481人が回答)				

2. 施策の役割分担

	① 住民の役割 (自助・共助・協働でやるべきこと)	② 行政の役割 (町・都道府県・国がやるべきこと)
施策成果向上に向けた住民と行政との役割分担	交通法規を順守し、安全に努めることは住民が果たすべき責務である。また、防犯については「自分の身は自分で守る」という日頃からの意識を基に取り組んでいく必要がある。	交通安全と防犯についての啓発活動、組織育成及び適時適切な情報提供を実施する。また、施設・設備の整備については、県と町が連携又は共同して実施する。

3. 評価結果

1. 施策の成果水準とその背景・要因	
2 年度の 評価結果	① 成果指標の時系列比較 (成果は向上したか? 低下したか? 要因は?) 直近3年間の事故件数及び違反者は、人口1万人あたりの件数として、岡山県内でも高い水準(少ない)にある。しかし、交通事故による被害者は全国的にも高齢者が多いことから交通安全教室を通じて、住民一人ひとりの意識の向上が望まれる。 また、犯罪件数も減少しており町内における治安は向上されている。犯罪にあう不安を感じている町民の割合は微増しており、近年の特殊詐欺等に対し住民は不安を感じているものと思われる。
	② 他団体との比較 (近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか、低いのか、その背景・要因は?) 人口1万人あたりの交通事故発生件数は、鏡野町は5.54件であり、岡山県内でも少ない件数となっている。また、近隣市町(津山市: 20.96件・美咲町: 21.45件・勝央町: 16.32件・久米南町: 12.92件)と比較しても低い値となっている。 人口1万人あたりの町内の犯罪発生件数は、鏡野町は15.04件であり、岡山県内でも少ない件数となっている。また、近隣市町(津山市: 40.12件、美咲町: 19.97件、勝央町: 29.93件、久米南町: 19.39件)と比較しても低い値となっている。
	③ 住民の期待水準との比較 (住民の期待よりも高い水準か、低い水準か、どんな意見や要望が寄せられているか?) 町民の交通安全施設等整備に対する要望は多数あるものの、設置基準等により全ての要望に対応することは困難な状況にある。 また、犯罪被害にあう不安を感じている町民の割合は、前年度と比較して微増傾向にあり、近年の犯罪は多様化しており、情報発信等の推進が必要。
2. 施策の成果実績に対する 2 年度の取組や目標達成度	
■ 2 年度の主な取組の成果(改革改善した取組、目標の達成度は?)	
交通安全施設については前年同様、区長申請を受けて設置箇所を調査し設置を行った。(令和2年度新設: 7件・更新: 3件) 防犯対策では、防犯灯設置助成金の活用による防犯灯を設置(令和2年度32件)し、少年警察協働員等との連携により地域の見守り活動を行う安全・安心まちづくり事業や啓発活動を行った。 令和2年度からの新規事業として、後付けブレーキ補助金交付事業(交付件数: 17件)と防犯機能付き電話機の購入補助金交付事業(交付件数: 20件)を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値以上 <input type="checkbox"/> 目標値どおり <input type="checkbox"/> 目標値以下
3. 施策の今後の課題と改革改善の方向 (うまくいかなかった取組や事務事業は? その原因は?)	
交通安全対策については、事故件数及び違反者数共に、岡山県内でも高い水準(少ない)だが、高齢者が被害にあう事故が7件中5件あり依然として高齢者及び小学生等への交通ルール、マナーの啓発が必要である。 防犯対策においても、最新の手法等の情報収集を行い、広報紙や町ホームページ等を活用して住民への情報提供を行う。また、安全・安心ネットワーク等による地域組織を活用し住民主体で自発的な活動がなされるように支援の在り方を検討する必要がある。	